

# ホームに基調せる幼稚園の經營一端

(これは去る十一月の全國保育大會に於ける研究發表であります)

岡山女師幼稚園 岡

政

幼稚園の經營は見世物でない。卑しくも幼児を世話する以上其教育愛に依て當然生れなければならぬものである。教育生活の覺書として生れる場合もあらう。日々の記録として残される場合もあらう。何れにせよ生れるものは吾人皆異にすべきものである。此意味に於て今日の私の經營の一端も全く私丈のもの私の園丈のものに過ぎない事をあことわり致して置きます。

「昭和は家庭教育の時代なり」明治から大正前半期に於ける學校教育萬能の時代はとうくに過去りました。大戦後引續き起りました思想問題社會

問題の影響は引續き社會教育を勃發してまゐりました。茲に残された教育分野中最も大切で而も根本的な家庭教育、それが此の昭和の御代にさげられる事は當然の事であつて喜びに絶えない次第であります。今春文部當局に於ける家庭教育講習會を手初めに又今回は日本幼稚園協會の御提出の問題と云ひ皆此の此に留意されて居る事が伺はれますので愈々意を強くなる次第であります。果して昭和は家庭教育の時代なり。

偕此の家庭教育に對する私共のとるべき道それは前日既に研究され立派な説も伺つた譯で私とし

ても大に其様につとめ度思つてゐます。然し私として家庭を指導などいふ口幅廣い事は申される柄でない事勿論であります。そこで如何にすべきかと申しますと

現在に於ける家庭の母親はやはり本能愛にのみ走り易い傾向があります。それを理性の光に依て磨きかける事換言すれば反對に理性愛にのみからみ易い幼稚園の保姆の心持化さしめる事其方法をして幼稚園の保育化さしめる事これはあながち出來得ないでもないかと思ひます。何故ならば現在母親の教育力も進み相當に理解の力も出來て居る今日の事故、そして又一面現在の幼稚園も最上のものといはれぬ故兎角理性愛のからまりといつてよい其教育をして目下大に尊重されつゝある家庭教育化する事保姆をして家庭の母親の心持化さしめる事は亦前者よりより以上大切かと思ひます。斯くして保姆と母、幼稚園と家庭とが互に其長短

を了解し、結付いて、そして子女教育の爲めに眞に協心指導の任に當るといふ事は、一方幼稚園教育を効果あらしめる事となり又一方家庭教育の進行を促し得るものなりと信じます。恰も亞米利加コロンビヤを中心に目下盛んに行はれつゝある親師運動の心持効果と同様のものではなからうかと存じます。

かゝる意味のもとに私が幼稚園に於いて可成長の間考へても見又實施も致して居る然も或程度の自信を以てなしつゝある施設經營の實際の一端を話さして戴きませうと存じます。便宜上主なるものを羅列いたしませう。

### ◎ホームに基調せる組の編成

澤山の子供を預る以上其所に適切なる組といふものゝ編成される事は當然であります。約八十名の子供は年齢に依り三組に編成して居ます。然し

是れは保姆の責任上の組で保育の方法上に於ける組は一口に申すと移動式といつて差支へないものであります。或は年齢別或は知能別、性別、又ある種の群其儘をもつてする自由集團に依るもの或は全幼児自由生活中に於ける、活動充實せぬ子供を集めるとか、或は材料を本體として適當の幼児を集める等恰も一社會一家庭に於ける同様の姿をもつて各方面の集ひ相互生活を行はしめるといふ所謂中心を常に移動さして居ます。決して保姆の都合に依て固定した組のみに偏しない朝に夕に今日に明日にと適宜移動するものにして居る、即幼児の自然の生活の姿を見て居るとどうしても固定し得られないのであります。次は

### ◎ホームに基調せる設備

どうかして濕ひのある暖味のある柔きのあるものそれを欲しいと存じます。あの家庭に於ける茶

の間の生活と座敷の生活と臺所の生活點に思つても美しいもの温いもの懐しいものであります。其れを思つた時どうしてもマツチ箱の様な室を同じ様に列べる事が出来ません。子供の爲の牢獄でない生かす場所だから、故に幼児が門をくぐると柱一本松の樹一本あの椽の隅からあの机に至る迄皆子供のものなのであります。皆友達となつて生きて働いてゐるものであります。すると種々の特色をもつて色々の姿をもつて幼児の心持を開かすものでなければなりません。お庭へ出た時お臺所へ入つた時お座敷へ入つた時皆各種の豊富な環境は幼児の心身の活動を各方面から刺戟啓發した其所に又となき樂しさも生れなければと思ひます。教育の基調が愛であれば園の全部は皆幼児の要求なり趣味に適應せねばなりません。教育者の愛が燃えて居な、ければなりません。必ずオーガンがなければ、教壇がなければ、塗板がなければ、出來得

ぬといふ譯はありません。かゝる意味から私の方では各室毎にすつかり趣をかへてゐます。壁の色一つでも考へなければならぬのであります。第三者は是れを見て作業別の室だと比判して下さいます。それかあらぬか兎に角家庭と同様に居心地よく然も豊富な環境中で常に充實した生活をとの念願から自ら生れた設備に外ありません。

### ◎ホームに基調せる時間と鐘

倉橋先生が常に教へて下さる「實生活を實生活へ」其生活は一連一帯切るに切れぬ生活なのであります。即其生活を縦から見ると徹頭徹尾遊戯生活で私共は此所に幼児の生活意味を認めそれを充實進展させそして目的生活へと導かねばならぬと考へます。横には彼等の在園中の生活を一貫し一日に於ける全生活に教育的意味を見出し指導する全日保育でなくてはならぬと考へます。遊ぶ時、

食事の時、登園の時、歸る時、凡てが保育の對象であります。故に此自然の生活、縦にも横にも切れぬ生活、これを對象とした時鐘も不必要時間割も邪魔になります。一日の保育は昨日も今日も明日も明後日迄もズツと繼續してゐます故。私の方では幼児の生活の一定の姿型換言せば取扱ひの型といふものは全然ありません。今日の保育と明日の保育とは全く異つてゐます。例へば、昨日ズツと設定保育が續いた、今日は天氣はよし終日自由生藩だつた、とか。是れを幼児側からいふと、或子供は玩具室で種々の實驗觀察で正午迄も忘れてゐる。或子供は保母と共に小さい机を自分で持出して花壇の邊で平日も繪を描いて居る。或子供は大きい友達小さい友達と一緒に朝から砂場で公園造りをして居たがそれがすむと或保母とそこに居た子供丈ほんとの公園へ遊びに出かけた等、幼児等は登園して何事をなしたか早歸園時刻が來た

と、恰も家庭のそれと少しも變らぬ何等型の備らぬ自然な氣持に於て終日を過すのであります。十數年前におきまして「先生今一度お集りしたらお食事もお歸へりネ」といつて居た其當時を思出し恥しくすまない感じが致します。

### ◎ホームに基調せる晝食

全日保育に於ける晝食は最意義を有するものであります。持參の辨當を取敢へず終へてといふ如きものでありません。其所に思付ました私の方では是又十數年前から保母と幼兒の手とで晝食を炊らで居ます。共に米洗し共に煮えるのを待つて共に茶碗へつけて食べます。お互に話もする、蓄音機も聞き乍ら、少いのは三つ位多いのは六つ七つと、おまわりは三つ四つの間にケロリと食べてあとは食鹽か或は何もなくてもおいしいと申して平氣で戴きます。又かく食べるに至る迄の其保育そ

れがより大切でもあります。家庭の方の喜びは非常のもので時々食鹽が運ばれます。マゼ食の材料が送られるのであります。そして家庭で不平を云ひ乍ヤツト進められて二つ位が關の山の子供が楽しくおいしそうに四つ五つと平氣で食べて行く其有様を見て家庭の母親達に何物かを悟らせ得るのであります。

### ◎ホームに基調せる宿泊保育

私共が全心全力を捧げて全日の保育をなし然も八十名からの晝食も作り可成に骨折つた生活も是れを幼兒の家庭の心持に比べた時まだ遺憾の點があります。

私共が子供に對する眞の愛？

子供が保母に對する心持？

すつかり心を開いて居るか否、兩者の心持は、靈は、魂は、ピッタリと合てゐるか、否茲に眞に

告白する時汗顔の至りであります。一面二六時中僅に四五時間其丈預つた丈では決して其効果が舉るものではありません。それも唯童謡を教へるとか遊戯を覚えさせるとか其位なんでもない事乍眞に全我を以ての保育、魂による保育、人間から人間への教育、内からの教育、となると多人數を僅かに數時間位では眞に物足りなく思ひます。もつとく奥底に觸れたい、殿堂迄喰入度、それには何を、何がと考へてゐる失先、或幼兒が申出した事が一動機となつて遂に宿泊保育といふものを實施するに至つたのであります。共に寢共に散歩し共に働く、是位親密になるものはありません。是位楽しいものはありません。只一回丈の宿泊によつてさへどれ位互の心が相寄つた事でせう。到底一ヶ月や二ヶ月の比ではありません。子供は泊りの日だと申しますと踏む所も覺えぬ位喜びます。大きな規定の荷物を携へて先生來ましたよといふ

其時の顔は幼兒も保姆も慥かに朝登園の時よりもつとく親しい楽しいものをもつてゐます。市場へ行く、炊事をする、蒲團が運ばれる、夕方の散歩、電燈下のレコードコンサート、遊戯。幼兒は晝と同様に否一層くだけた親密さをもつて仕舞ひます。又下女の無い協同の生活だから自分で蒲團も敷きます、寢巻も着換へて洋服もたゞみますといふ有様です。寢てゐる姿は晝の程充分と保姆を困らせたヤンチャの子供もまるで佛様の様な圓滿な顔容で寢てゐます。若い保姆の先生はマンデリともしないで次から次へとぬぐ蒲團をさせかけて風邪にならぬ様にと努めます。朝になると幼兒はニツコリ蒲團の上に起上り、周圍を見廻しぬむい眼をこすり乍、アラ先生も寢たのね僕の方早いよ、とサツサと洗面所へ友達と走つて行くといふ有様です。成城の小原先生が「子供の教育は八時以前と三時以後とにほんものがある」といはれた

のも此邊の事ではなからうかと察知されます。私共はかゝる事をして家庭教育の存在を奪ふといふのではありません。又同様にしようとするのでも

ありません。保姆としては其味に觸れて母の心持を知る事により教育者としての體驗をなし同時に

身をもつて生活を全的に誘導しよう、そして其方法を母なる人に知らそうとの考へに外ならぬのです。かゝる事の實施以來母親は可成に云ひ難い其子供の事でも相談にまゐる様になりました。そして是れが動機で母なる人の晝の保育の手傳等發議されました。一部の幼児の母親や或は下女等が時々幼児と共に登園して共に歌つたり踊つたり掃除もしたり晝食等共にして歸つて行く其姿を眺めました時、家庭の幼稚園化も近き將來に近づいて來てゐるではないかと幼稚園の家庭生活化と共に嬉しく思ひます次第です。

かくする事に依つて庭園の連絡上には最効果を

認め得ましたので例へば「國十」の「淨土位」に止まつて居たものが此の實施後は、

「國十」の「淨土位」に止まつて居たものが此の實施後は、

五ト五ト十以上二十にも三十にも効果が擧つて來た事を甚だ嬉しく思ひます。

以上は當園としてなしてゐるほんの一端を極めて租略申述べましたのでありますが、纏りのないあつけないものになつて仕舞ひました。然し此貧弱私のかねての念願とする所が多少なりひらめいてゐるかと思ひます何卒御批正を願上ます。